

所管課：福祉部共生福祉課

期 間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和4年度 総合福祉センター管理運営評価表

1 施設概要

設置目的	老人及び障がい者に対するサービスの提供、各種福祉団体の育成等及び各種福祉情報の提供等を総合的に行い、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ること。
施設内容	・老人デイサービス事業及び生活介護事業を行う施設 ・福祉活動施設
指定管理料等の支出額	協定締結額 49,895,000 円 支出済額 49,895,000 円

2 指定管理者

名 称	社会福祉法人 北本市社会福祉協議会
所 在	北本市高尾1丁目180番地
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務範囲	(1) 管理施設等の維持管理に関する業務 (2) 管理施設の利用承認に関する業務 (3) 老人デイサービス事業 (4) 生活介護事業 (5) 各種福祉団体・ボランティアの育成に関すること (6) 地域交流事業に関すること (7) 事業計画及び事業報告に関すること (8) その他施設の設置の目的を達成するために必要な業務であって、協議の上、定めた業務

3 管理運営の実績

施設の貸出状況等	条例・規則、仕様書に基づいた受付、貸出が行われた。 ・福祉活動施設の利用者数は9,747人（前年度7,655人）前年比27.3%増。
料金の収受の状況	福祉活動施設は無料のため、利用料の収受はなし。 生活介護事業利用者負担金 94,710円を収受した。
自主事業の状況	「きたもと つながるフードパントリー」を実施した。
施設維持管理の状況	清掃、設備の点検、警備の管理等が行われた。
収支の状況	(1) 収入 68,653,626円 指定管理料 49,895,000円 障害福祉サービス事業収入 18,758,626円、 (2) 支出 70,918,998円 人件費 45,600,047円、事業費 23,754,809円、事務費 503,916円 助成金 377,306円、施設整備等による支出 286,800円、 退職手当積立基金 396,120円

	(3) 収支 △2,265,372 円
--	---------------------

4 利用者の満足度調査等

利用者アンケートの結果	今年度アンケートは、令和5年1月13日から令和5年2月12日の期間において実施した。
利用者の意見、苦情等とその対応	<p>意見や苦情等は特になかったが、生活介護事業においてヒヤリハット報告が7件あった。</p> <p>1 ヒヤリハット</p> <p>(1) 食堂において</p> <p>【状況】スプーンを返し忘れた。家族からの連絡により発覚。</p> <p>【対応】家族に電話で謝罪した後、自宅まで届けた。</p> <p>【再発防止策】食事が終わったら、すぐ洗浄しケースにしまう。口腔ケア物品をしまう際、スプーンが入っているか再確認する。</p> <p>(2) 食堂において</p> <p>【状況】禁忌食（山芋）を出してしまった。</p> <p>【対応】本人が食さなかったため、大事には至らず。グループリーダーより担当者へ注意した。</p> <p>【再発防止策】特別仕様の人の詳細が記入してある食札を、よく確認する。複数人で声掛けをする。</p> <p>(3) 送迎車内において</p> <p>【状況】送迎中、車いす利用者より「車いすが動く」との申し出あり。</p> <p>【対応】停車し、車いすの固定状況を確認したところ、左側のワイヤーが緩んでいたため、固定し直した。</p> <p>【再発防止策】車いすを固定する際は、固定状況を複数回確認する。</p> <p>(4) 機能訓練室において</p> <p>【状況】禁忌食（乳製品を使ったムース）を出してしまった。</p> <p>【対応】本人から「乳製品は食べられない」と申し出があり、ゼリーと交換した。職員より本人へ謝罪した。</p> <p>【再発防止策】注意表を確認し、複数人で声を出し確認をする。</p> <p>(5) 食堂において</p> <p>【状況】欠席者の伝達を下の名前のみで行ったため、行き違いがあり、利用者の食事が用意されていなかった。</p> <p>【対応】欠席者分の食事を、利用者用の形態に加工して提供。</p> <p>【再発防止策】欠席者はフルネームで伝達する。</p> <p>(6) 食堂において</p> <p>【状況】ご飯に異物（繊維状のもの）が載っていた。</p> <p>【対応】別の茶碗にご飯を盛って提供。利用者に謝罪。</p> <p>【再発防止策】配膳前に、配膳者の着衣を確認する。</p> <p>(7) 食堂において</p> <p>【状況】味噌汁の提供を失念。</p> <p>【対応】利用者は食事を終えており、後出しはできず、謝罪。</p> <p>【再発防止策】食札を配膳OKにする時の確認を徹底する。複数人で確認。</p>

5 庁内検査委員会のまとめ

所見	・生活介護事業の利用者が少ない。生活介護事業は利用者が減少すると、障害福祉サービス事業収入も減少するので、事業経費の削減や事業のさらなる周知徹底等の対応を検討すること。
----	--

6 前回評価委員会の指摘事項

指摘事項	特になし
対応状況	

7 評価委員会のまとめ

総合評価	<p>●A：業務が履行され、施設の管理運営が適切になされている。</p> <p>○B：一部改善を要する事項はあるが、施設の管理運営がほぼ適切になされている。</p> <p>○C：履行に重大な問題がある。</p>
所見	・庁内検査委員会で指摘を受けた生活介護事業者の利用者数については、引き続き改善を図る取組みを続けること。

(評価実施日 令和5年7月27日)